



平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 ホソカワミクロン株式会社

上場取引所 東大

コード番号 6277 URL <http://www.hosokawamicon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田清巳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経理本部本部長 (氏名) 井上鉄也

TEL 072-855-2225

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	9,783	13.0	838	27.1	874	41.0	608	31.2
24年9月期第1四半期	8,659	20.3	659	166.2	620	200.5	464	206.0

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 2,087百万円 (943.5%) 24年9月期第1四半期 200百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	14.72	14.71
24年9月期第1四半期	11.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	43,981	22,589	51.3
24年9月期	42,618	20,705	48.5

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 22,568百万円 24年9月期 20,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	4.00	—	5.00	9.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	14.4	1,800	22.4	1,800	20.4	1,200	20.5	29.00
通期	41,000	0.7	4,000	2.4	3,900	0.9	2,500	13.2	60.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期1Q	43,076,347 株	24年9月期	43,076,347 株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	1,700,405 株	24年9月期	1,699,401 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期1Q	41,376,757 株	24年9月期1Q	41,384,946 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、出遅れていた住宅市場の改善や強力な金融緩和策に下支えられ、緩やかな成長を続けているようであり、一方、欧州は財政緊縮と構造改革の影響で南欧経済の落ち込みが続いていることに加え、これまで牽引役を果たしてきたドイツ等北部の国々にも世界的な景気減速の影響が表れております。アジアにおいては、欧州債務危機の影響により輸出が低迷し、個人消費や投資にも陰りがみられておりましたが、中国において金融緩和を進め、インフラ投資を実施し景気下支えに動き始めた結果、製造業の景況感を持ち直しつつあります。日本は、復興需要と政策効果に支えられ回復を続けてきましたが、海外経済の減速を背景とした輸出の減少を主因として先行き景気は不透明となっております。

このような経済環境の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高は117億4千万円(前年同期比8.4%の減少)、受注残高は178億5千1百万円(前年同期比2.6%の減少)、売上高は97億8千3百万円(前年同期比13.0%の増加)となりました。

利益面におきましては、期初の受注残高が多かったことによる増収効果により、営業利益は8億3千8百万円(前年同期比27.1%の増加)、経常利益は8億7千4百万円(前年同期比41.0%の増加)、四半期純利益は6億8百万円(前年同期比31.2%の増加)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①粉体関連事業

当事業は、粉碎・分級装置、混合・乾燥装置及び日本市場においての大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置、精密空調制御装置等の製造販売、複合ナノ粒子を中心とした新素材開発とその商品化並びに微粉体受託加工サービスを提供するホソカワミクロングループの主力分野であります。食品市場向けや化学市場向けなどの受注が堅調に推移したほか、期首受注残高が多かったことなどから、売上高は増加いたしました。

この結果、受注高は92億8千3百万円(前年同期比2.1%の減少)、受注残高は136億6千2百万円(前年同期比6.2%の減少)となり、売上高は82億2千6百万円(前年同期比21.1%の増加)、セグメント利益(営業利益)は11億4千6百万円(前年同期比44.0%の増加)となりました。

②プラスチック薄膜関連事業

当事業は、単層から多層の各種プラスチック高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売を行っております。

米国においては活発な設備投資により受注高は増加しましたが、他の地域において受注の決定が遅延しており、結果として受注高は減少しました。売上高は当初から第1四半期の売上予定案件が少なく減少となりました。

この結果、受注高は18億9千7百万円(前年同期比19.1%の減少)、受注残高は34億8千1百万円(前年同期比32.4%の増加)となり、売上高は10億2千8百万円(前年同期比28.8%の減少)、セグメント損失(営業損失)は1億3百万円(前年同期は1億9百万円の営業利益)となりました。

③製菓関連事業

当事業は、欧米を中心にハードキャンディ、チョコレート、ベーカリーなどの製造装置の開発・製造・販売を手掛けております。大型案件の受注決定が延びているため受注高は減少しておりますが、期初受注残高が多かったことにより売上高は増加しました。

この結果、受注高は5億5千9百万円(前年同期比43.6%の減少)、受注残高は7億7百万円(前年同期比38.1%の減少)となり、売上高は5億2千8百万円(前年同期比24.8%の増加)、セグメント利益(営業利益)は1千万円(前年同期比538.5%の増加)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態については、前連結会計年度末に比べ、総資産は主にたな卸資産の増加、有形固定資産の増加により13億6千3百万円増加し、439億8千1百万円となりました。負債は前受金が増加しましたが、支払手形及び買掛金、未払費用の減少により5億2千万円減少し、213億9千2百万円となりました。純資産は、主に為替が円安に振れたことによる為替換算調整勘定のマイナスが小さくなったこと及び利益剰余金の増加などにより、18億8千3百万円増加し、225億8千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、平成24年11月9日付「平成24年9月期決算短信」にて公表いたしました連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(平成25年2月8日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

通期の業績予想につきましては、先行き不透明な状況となっておりますので据置とさせていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社は、当連結会計年度の税金等調整前四半期純利益(損失)に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じた税金費用を計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。当該変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,126	6,370
受取手形及び売掛金	12,731	11,349
有価証券	156	167
製品	2,085	2,418
仕掛品	2,079	2,427
原材料及び貯蔵品	1,916	2,346
繰延税金資産	449	435
その他	850	963
貸倒引当金	△170	△165
流動資産合計	26,226	26,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,278	7,724
機械装置及び運搬具（純額）	1,566	1,811
土地	4,749	4,801
建設仮勘定	606	1,049
その他（純額）	421	464
有形固定資産合計	14,623	15,852
無形固定資産		
のれん	22	20
その他	296	301
無形固定資産合計	318	321
投資その他の資産		
投資有価証券	630	679
繰延税金資産	540	523
その他	295	307
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	1,450	1,494
固定資産合計	16,392	17,668
資産合計	42,618	43,981

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,608	5,153
短期借入金	12	20
1年内返済予定の長期借入金	384	389
未払費用	1,852	1,498
未払法人税等	600	253
繰延税金負債	159	232
前受金	3,254	3,691
賞与引当金	454	146
役員賞与引当金	71	23
製品保証引当金	595	606
設備関係支払手形	0	1
その他	1,292	1,588
流動負債合計	14,287	13,604
固定負債		
長期借入金	3,418	3,359
退職給付引当金	3,847	4,140
繰延税金負債	174	103
資産除去債務	29	29
その他	155	154
固定負債合計	7,625	7,787
負債合計	21,913	21,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,496	14,496
資本剰余金	5,206	5,206
利益剰余金	9,434	9,836
自己株式	△1,283	△1,284
株主資本合計	27,853	28,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△124	△76
為替換算調整勘定	△6,686	△5,208
在外子会社の年金債務調整額	△354	△401
その他の包括利益累計額合計	△7,164	△5,686
新株予約権	16	20
純資産合計	20,705	22,589
負債純資産合計	42,618	43,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	8,659	9,783
売上原価	5,452	6,280
売上総利益	3,207	3,503
販売費及び一般管理費	2,548	2,665
営業利益	659	838
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	4	3
持分法による投資利益	—	7
為替差益	—	33
その他	16	12
営業外収益合計	27	65
営業外費用		
支払利息	12	10
持分法による投資損失	0	—
為替差損	24	—
その他	29	18
営業外費用合計	66	29
経常利益	620	874
特別利益		
固定資産売却益	75	8
特別利益合計	75	8
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別退職金	12	4
特別損失合計	12	5
税金等調整前四半期純利益	682	877
法人税等	218	268
少数株主損益調整前四半期純利益	464	608
四半期純利益	464	608

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	464	608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	47
繰延ヘッジ損益	△2	—
為替換算調整勘定	△244	1,478
在外子会社の年金債務調整額	2	△47
その他の包括利益合計	△264	1,478
四半期包括利益	200	2,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200	2,087
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	製菓関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,790	1,445	423	8,659	—	8,659
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2	—	—	2	△2	—
計	6,793	1,445	423	8,662	△2	8,659
セグメント利益	795	109	1	907	△247	659

(注) 1 セグメント利益の調整額△247百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	製菓関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,226	1,028	528	9,783	—	9,783
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3	—	—	3	△3	—
計	8,230	1,028	528	9,787	△3	9,783
セグメント利益又は損失 (△)	1,146	△103	10	1,053	△214	838

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△214百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。